

共に生きる社会

～ヤングケアラーを知っていますか～

令和4年

とき **10月22日(土)**

開場 12:30 開演 13:00～16:50

ところ **ウイステリアホール**

札幌市中央区南1条西14丁目ウイステリア南1条ビル地下
※地下鉄東西線「西18丁目」駅5番出口より徒歩5分
札幌市電「西15丁目」停より徒歩1分

会場及びオンラインで開催します
(会場100名、オンライン300名)

お申込みQRコード

オンライン参加の方は必ず申込み用サイトから
お申込みください。会場参加の方は申込み用紙
をFAX又は申込み用サイトからお申込みください



参加無料
事前のお申込みが必要



座長兼 パネルディスカッション
コーディネーター

中村 秀一氏

一般社団法人医療介護福祉政策研究フォーラム理事長
国際医療福祉大学大学院 教授



第一部

基調講演

13:15～14:15

60分

ヤングケアラーが「いきる」社会へ

～家族のケアを担う子どもたちの現状・困難・価値～

講師

濱島 淑恵氏

大阪歯科大学 教授



家族のケアを担う子どもたち、いわゆるヤングケアラーがごく身近にいること、ケアによって学業、健康等に影響が生じる場合があることは、つい最近まで知られていませんでした。講演では、近年の実態調査や事例をもとに、ヤングケアラーの現状と抱える問題、ケア経験の価値について概説し、ヤングケアラーと共に生き、彼らが生きる社会のあり方を考えます。

休憩 (14:15～14:25)

第二部

パネルディスカッション

14:25～16:45

140分

共に生きる社会 ～ヤングケアラーを知っていますか～

○各パネリストから担当分野について発言 (各10分程度)

休憩 (15:25～15:35)

○全体討論 (60分) 15:35～16:35

○総括 (10分) 16:35～16:45

パネリスト

濱島 淑恵氏

大阪歯科大学 教授



パネリスト

羽野 嘉朗氏

厚生労働省子ども家庭局
家庭福祉課 室長



パネリスト

加藤 高一郎氏

ケアラー支援ネットワーク
「えべっケアラーズ」代表



パネリスト

田村 千波氏

北海道教育委員会兼江別市教育委員会
スクールソーシャルワーカー



講師・座長・パネリストご紹介

講師 兼 パネリスト 濱島 淑恵 氏

大阪歯科大学 教授

【主な活動経歴】

これまで家族介護者が抱える生活困難と支援に関する研究に取り組んできた。2016年に全国初の子どもを対象としたヤングケアラーに関する質問調査、2021年度には大阪市と共に中学生対象の実態調査を実施。国のヤングケアラーに関する全国調査の研究班メンバー、小学生、大学生等を対象とした全国調査の研究班委員長を務め、現在は神戸市子ども・若者ケアラー支援アドバイザー、大阪市ヤングケアラーPTメンバー等として活躍中。2019年には、現・元ヤングケアラーたちの集い「ふうせんの会」を有志とともに立ち上げ、活動を続けている。主な著書に『子ども介護者－ヤングケアラーの現実と社会の壁－』（角川新書）がある。

座長 中村 秀一 氏

一般社団法人医療介護福祉政策研究フォーラム理事長
国際医療福祉大学大学院 教授

【主な経歴】

1973年 厚生省入省(社会局老人福祉課)
1981～1984年 在スウェーデン日本国大使館勤務
2002年 厚生労働省老健局長
2005年 厚生労働省社会・援護局長
2008年 社会保険診療報酬支払基金理事長
2010～2014年 内閣官房社会保障改革担当室長
現在 一般社団法人医療介護福祉政策研究フォーラム理事長
国際医療福祉大学大学院教授

パネリスト 加藤 高一郎 氏

ケアラー支援ネットワーク「えべつケアラーズ」代表

【主な活動経歴】

2003年からケアマネージャーとして社会福祉法人の業務に携わる。2015年より「支える人を支える」をモットーに「えべつケアラーズ」の活動開始。2018年頃より地域の若い世代のケアラーからの相談も増え、ヤングケアラー支援にも積極的に関わる。本年4月「北海道ケアラー支援条例」が施行となり、関連事業の1つである「ヤングケアラー支援体制強化整備事業」を受託。道内唯一のケアラーとヤングケアラーに特化した活動を行う民間団体として活動中。

パネリスト 羽野 嘉朗 氏

厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課 室長

【主な経歴】

2004年 厚生労働省入省
2011年～2013年 社会・援護局保護課課長補佐(生活保護制度の改正)
2014年～2015年 老健局介護保険計画課課長補佐(介護保険法改正の施行、医療介護連携の推進)
2016年～2019年 在中国日本国大使館(社会保障、医療介護の日中交流の推進)
2021年9月～ 現職

パネリスト 田村 千波 氏

北海道教育委員会兼江別市教育委員会
スクールソーシャルワーカー

【主な活動経歴】

札幌市教委の学びのサポーター、児童サービス等の経験を経て、2011年度から江別市、2015年度から道教委の北海道スクールソーシャルワーカーを兼任。ヤングケアラーのように学校だけでは解消の糸口が見えない課題に対し、学校の枠を越え関係機関等との連携を図り、子どもを取り巻く環境に働きかけて支援を行う。学校、地域、社会の資源を活用し、「予防的なソーシャルワーク」を目指している。

お申込み方法

お申込み締切日

令和4年10月12日(水)



上記のQRコードをスマホやタブレットのカメラで読み取ってお申込みください。

下記のURLからもお申込みができます。

<https://hokkaido-forum.com>

オンライン(ZOOM)参加希望の方

- ①「オンライン(ZOOM)参加」のボタンをクリック
- ② オンライン(ZOOM)参加するための必要な情報を入力して送信
- ③ 入力したご自分のメールアドレスに申込み登録完了のメールが届いたことを確認
- ④ 当日はZOOMから届いたURLをクリックしてフォーラムを受講

※登録完了のメールや当日のURLが届かない場合は、事務局までお問い合わせください。

会場参加希望の方

【会場参加を希望する方は、FAXでのお申込みも可能】

- ①「会場参加」のボタンをクリック
- ② 参加するために必要な情報を入力して送信

FAXにて会場参加をお申込みの方は、必要事項をご記入のうえ送信してください。

FAX:011-558-7062

ふりがな		電話番号	
代表者氏名		メールアドレス	
ご住所	〒	ご勤務先・学校名	
		参加人数	
車いす使用の有無	使用する ・ 使用しない	手話通訳の希望	希望する ・ 希望しない

【ご入場の制限に関して】

次に該当するお客様の入場はご遠慮いただきますようお願い致します。
※新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合
※37.5℃以上の発熱がある場合
※新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触が1週間以内にある場合
※過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴並びに当該国・地域の在住者と濃厚接触のある場合

【新型コロナウイルス感染予防対策について】

本フォーラムは、主催者として政府等公的機関より発表されたガイドラインに基づき、新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取り組みを行ってまいります。

なお、新型コロナウイルス感染拡大によりやむを得ずフォーラム内容の変更、中止とする場合があります。あらかじめご了承ください。

【ご来場に関して】

会場内外において常時マスクの着用・咳エチケットを徹底していただきますようお願い致します。受付等には消毒液を設置しております。ご来場の際は手指消毒を行ってください。専用駐車場はありませんので、公共交通機関でご来場をお願い致します。

個人情報の取り扱いについて
お申込みの際ご入力いただいた個人情報は、感染予防、拡大防止のために地方自治体や保健所から来場者情報の開示要請があった場合に必要な情報を提出させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

フォーラム事務局 株式会社 メディカルシステムネットワーク
〒060-0010 札幌市中央区北10条西24丁目3番地 AKKビル3F
●電話によるお問い合わせ・受付時間 / 平日 9:00～17:00
●担当/桑田、片倉、坂本

電話 011-558-7061

メール forum@msnw.co.jp